

# 令和3年度 事業報告及び決算書

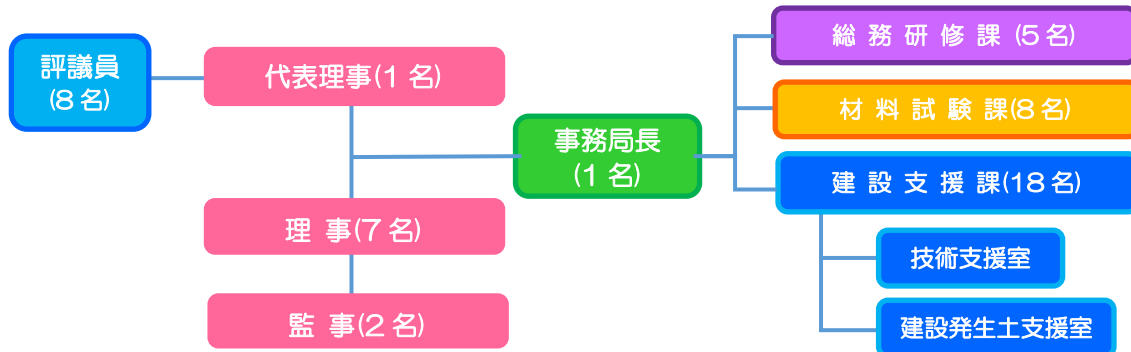
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

公益財団法人鳥取県建設技術センター

# 目 次

I	組織	1	頁
II	事務局職員	1	頁
III	令和3年度事業一覧表	1	頁
	令和3年度事業別収支決算一覧表	2	頁
IV	事業別経営改善計画の事業計画の実施状況		
V-1	令和3年度事業報告		
	社会資本整備事業		
	(1) 研修事業	4	～7頁
	(2) 図書等頒布事業	8	～9頁
	(3) 試験検査事業	10	～11頁
	(4) 技術支援事業	12	～15頁
	(5) 建設発生土受入事業	16	～18頁
V-2	法人の運営・管理の運営	19	頁
V-3	令和3年度決算書		
	(1) 貸借対照表	20	～21頁
	(2) 正味財産増減計算書	22	～24頁
	(3) 正味財産増減計算書内訳表	25	～26頁
	(4) 財務諸表に対する注記	27	～30頁
	(5) 附属明細書	31	～32頁
	(6) 財産目録		

# I 組織



※人数は臨時的任用職員含む

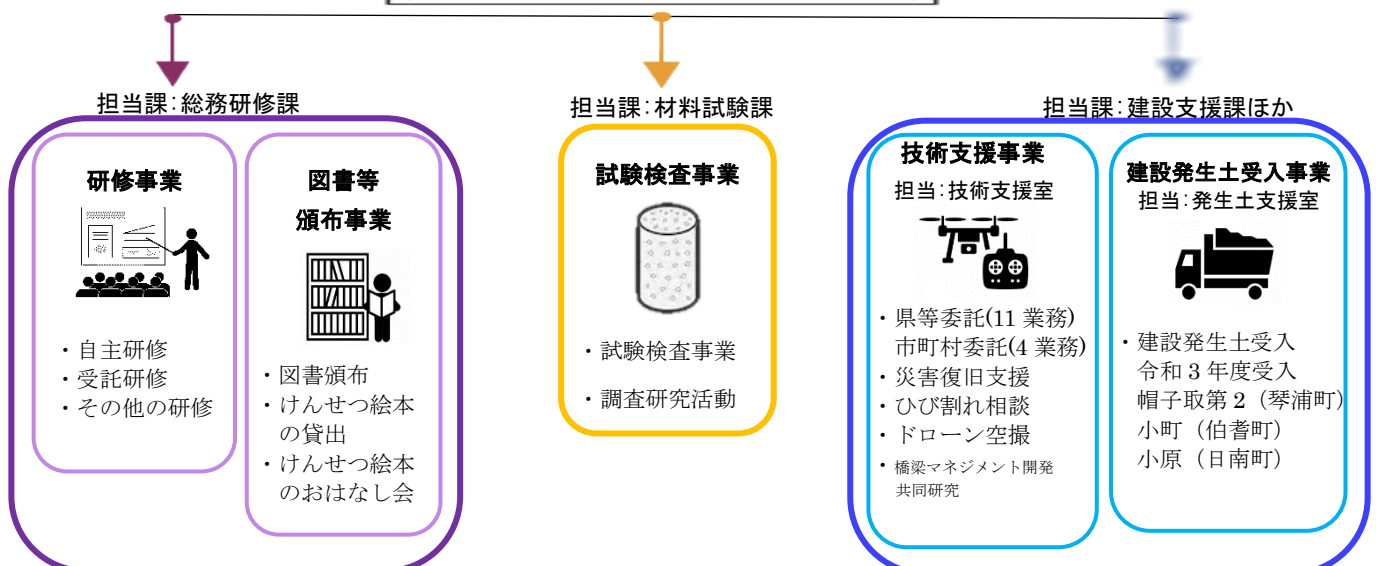
## II 事務局職員

(R4.4.1 現在)

所 属	主な業務	職 名	氏 名	備 考
		事務局長(兼)総務研修課長	長谷善幸	
総務研修課	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修事業（自主、受託研修）</li> <li>鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会事務局</li> <li>とっとり建設☆女星 NW 事務局</li> <li>図書頒布事業</li> <li>建設工事下請取引調査</li> </ul>	主 幹	前田民子	
		主 幹	浦田純子	
		副主幹	藤井成之	
材料試験課	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験検査事業</li> <li>調査研究活動</li> <li>再生砕石品質調査試験</li> </ul>	課 長	青滝一志	
		課長補佐	宮脇 泰一郎	
		主 幹	大西慶祐	
		参 与	松井信作	
建設支援課		課 長	福長宏之	(県派遣)
建設発生土支援室	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設発生土受入事業</li> </ul>	室 長	高浜 耕之輔	
		主 幹	井上純一	
		参 与	前田健文	
		技 師	岡野博樹	
技術支援室	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術支援事業 県、市町村等の積算、監督補助、検査業務</li> <li>市町村インフラ維持管理支援</li> <li>災害復旧支援</li> <li>新技術への支援</li> <li>橋梁マネジメント開発共同研究</li> <li>建設 DX 推進プロジェクト</li> </ul>	課長(兼)室長	福長宏之	
		主 幹	竺原 努	
		参 与	反田敏博	
		参 与	赤川 定	
		副主幹	井上和大	
		副主幹	石黒友規	
技 師	石井一彦			

## III 令和3年度事業一覧表

### 社会資本整備事業【公益目的事業】



令和3年度事業別収支一覧表

(R4.3.31)  
(単位：円)

事業名	内 訳	収入		支出		収支差 ①－②	
		予算額	決算額①	予算額	決算額②		
1 研修事業	自主研修	(1) 一般研修	18,980,000	20,329,000			
	受託研修	(1) 県土整備部技術職員等研修	4,332,000	4,321,500			
		その他の研修	(1) とっとり建設産業の魅力発信講座	0	0		
		(2) 建設産業育成研修	6,694,000	7,194,000			
	小計		30,006,000	31,844,500	27,443,000	23,635,906	8,208,594
2 図書頒布事業		8,410,000	4,894,604	10,702,000	5,141,912	△ 247,308	
3 試験検査事業	(1) 試験検査	(1) 試験検査	67,663,000	59,616,734	70,610,000		
		(2) その他	20,000	32,850	0		
	計		67,683,000	59,649,584	70,610,000		
	(3) 減価償却引当預金	4,884,000	0	3,500,000			
小計		72,567,000	59,649,584	74,110,000	59,134,983	514,601	
4 技術支援事業	(1) 受託 (県関係)	(1) 建設工事下請取引等点検調査	4,341,000	4,340,600			
		(2) 再生砕石品質実態調査に係る試験	854,000	822,800			
		(3) 工事積算補助	29,651,000	30,539,300			
		(4) ひび割れ診断	1,900,000	1,751,200			
		(5) 新技術・新工法活用システム事前審査	700,000	699,600			
		(6) 道路台帳等修正	15,342,000	15,342,800			
		(7) 工事検査補助	1,198,000	599,500			
		(8) 電子成果品保管・管理	906,000	321,200			
		(9) 賃金水準等詳細調査	3,683,000	3,621,420			
		(10) 橋梁直営点検支援	4,900,000	4,972,000			
	(11) 公共残土利用促進	3,300,000	3,294,500				
	計		66,775,000	66,304,920			
	(2) 受託 (市町村関係)	(1) 工事積算補助	19,474,000	27,889,400			
		(2) 現場技術	8,100,000	9,919,800			
(3) 橋梁補修工事の積算、現場管理補助及び技術的アドバイス		11,902,000	16,879,060				
(4) 工事検査補助		1,834,000	783,200				
計		41,310,000	55,471,460				
(3) その他	(1) 災害復旧支援	3,000,000	7,473,400				
	(2) コンクリートひび割れ相談	2,000,000	1,087,968				
	(3) 支援業務の効率化(ドローンによる空撮等)	350,000	211,200				
	(4) 橋梁マネジメント開発共同研究	3,500,000	9,022,200				
計		8,850,000	17,794,768				
小計		116,935,000	139,571,148	98,704,000	95,520,520	44,050,628	
5 建設発生土受入事業	(1) 受入収入	(1) 岩美第二 (計画0㎡)	0	0			
		(2) 帽子取2 (計画120,000㎡)	178,200,000	104,883,762			
		(3) 小町 (計画60,000㎡)	89,100,000	33,897,649			
		(4) 小原 (計画45,000㎡)	99,000,000	47,131,920			
		(5) その他	255,000	561,981			
	計		366,555,000	186,475,312	424,148,000	275,325,257	△ 88,849,945
(2) 特定費用準備資金等	81,400,000	81,400,000	30,000,000	30,000,000			
小計		447,955,000	267,875,312	454,148,000	305,325,257	△ 37,449,945	
管理費(※補正予算含む)		16,121,000	15,448,637	51,887,000	30,166,221	△ 14,717,584	
合計		691,994,000	519,283,785	716,994,000	518,924,799	358,986	

## IV 事業別経営改善計画の事業計画の実施状況

### (1) 総括

第4期経営改善計画では、『持続的な地域支援と経営の安定化』を基本理念とし、時代のニーズを的確にとらえ、建設産業の発展、地域の活性化に向けた支援を行い、安定的な経営を図ることとしている。

安定的な経営を目指すために、持続的に信頼性の高い技術者（エキスパート）を確保しながら、業務の拡大を図ることとしており、経営方針（安定的な経営の確立、人材の育成、ICT等の活用による業務の効率化、担い手の確保と育成、組織力の強化（活性化）、働き方改革の推進）に沿って、業務を推進している。

令和3年度は、令和3年7月豪雨災害や市町村の技術者不足もあり、技術支援業務のニーズは高く、収支も計画を上回っているが、建設発生土受入事業では、熱海市伊豆山土石流災害の影響により美成候補地の計画を中止することとなり、新たな候補地の選定が必要である。研修事業では、魅力的な職場づくりや新人技術者の定着に繋がる研修を重点的に実施しており、試験検査事業では、依頼件数が減少している中、新たな収入として調査研究を検討しているが取組みが進んでいない。

公益法人の財務三基準については、次のとおり基準をクリアしている。

<参考（令和3年度）>

- ・収支相償の計算（損益ベース） 438,608千円（収益） < 489,652千円（費用）
- ・公益目的事業比率(50%以上) 93%
- ・遊休財産額の保有制限の判定 保有上限額 489,424千円 > 遊休財産額 382,020千円

### (2) 収支状況

<5か年の収支状況> (収支ベース)

(単位：千円)

事業名		R3決算	R4予算	R5	R6	R7	計
収入	1 研修	31,844	30,395	30,700	30,700	31,200	154,839
	2 図書頒布	4,895	1,470	2,120	1,120	940	10,545
	3 試験検査	59,650	64,653	69,000	69,000	70,000	332,303
	4 技術支援	139,571	147,601	130,000	140,000	145,000	702,172
	5 建設発生土受入	186,475	462,483	670,250	519,750	467,775	2,306,733
	計	422,435	706,602	902,070	760,570	714,915	3,506,592
支出 (管理費含む)	1 研修	24,238	26,879	29,442	29,442	30,242	140,243
	2 図書頒布	5,173	1,146	929	929	929	9,106
	3 試験検査	59,240	65,629	144,000	81,000	87,000	436,869
	4 技術支援	102,338	122,752	110,000	120,000	120,000	575,090
	5 建設発生土受入	278,987	458,718	617,564	605,764	415,717	2,376,750
	計	469,976	675,124	901,935	837,135	653,888	3,538,058
収支差	1 研修	7,606	3,516	1,258	1,258	958	14,596
	2 図書頒布	△ 278	324	1,191	191	11	1,439
	3 試験検査	410	△ 976	△ 75,000	△ 12,000	△ 17,000	△ 104,566
	4 技術支援	37,233	24,849	20,000	20,000	25,000	127,082
	5 建設発生土受入	△ 92,512	3,765	52,686	△ 86,014	52,058	△ 70,017
	計①	△ 47,541	31,478	135	△ 76,565	61,027	△ 31,466

特定資産	減価償却積立額	△ 3,500
	特定資産取崩額	51,400
	計②	47,900

収支差	359
-----	-----

## V-1 令和3年度事業報告

### 社会資本整備事業

#### 1 研修事業

##### ○総括

建設業の技術者や県・市町村の技術職員の技術力向上を図るため、自主研修及び受託研修を実施するとともに、小学校・高校生等に対する建設産業の魅力発信や資格取得支援等の取り組みを行った。

収入は、予算額 30,006 千円に対し、決算額 31,844 千円となり予算額を 1,838 千円上回った。

これは、自主研修の受講者数が計画より 307 人増となったこと、また、建設産業育成研修では(一財)建設業振興基金から 500 千円の業務委託を受けたことによるものである。

(単位：円)

区 分	予算額 A	決算額 B	増減額 A-B
自主研修	18,980,000	20,329,000	1,349,000
受託研修	4,332,000	4,321,500	△10,500
とっとり建設産業の魅力発信講座	0	0	0
建設産業育成研修 (鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会)	6,694,000	7,194,000	500,000
計	30,006,000	31,844,500	1,838,500

#### ①自主研修

#### 令和3年度事業の実施

第4期経営改善計画		R3年度取組	
実践 研修	若手技術者のための基礎研修の拡充	現場研修の拡充	一般国道 313 号の現場で「丁張り研修」を実施した。(継続)
		現場で役立つ力学研修	「やさしい構造力学」「土質基礎」は2日間に拡大し、復習をしながら講義を進めた。
		魅力的な職場作り	働きやすい職場づくりにつなげるため、「メンタルヘルス」、「コミュニケーション」で上司と部下のコミュニケーションや様々なストレスへの対処法等を取り上げた。
情報系 研修	ICT (デジタル化) 関連の研修	i-Construction の活用 CAD 研修、デジタル DX 研修	「建設業における ICT 活用」で県内施工業者の ICT 活用の取組みを紹介したほか、「経営管理 I」で建設 DX の概要や今後の方向性について解説を行った。
維持系 研修	インフラ維持管理に関する研修	補修 (点検) の拡充 道路維持管理研修の拡充 各構造物の維持管理研修等	道路構造物、河川構造物、橋梁 (PC 橋、鋼橋) の維持管理に関する研修を実施し、点検・補修についての具体的な注意点や事例等の解説を行った。
災害系 研修	激甚化する災害復旧研修	被災状況に応じた復旧工法研修 改良復旧研修等	豪雨災害や地震災害について、鳥取県内の災害事例も盛り込むなど研修内容の充実を図った。
その他		受講者のニーズをとらえた研修	若手技術者の基礎研修の拡充、働き方改革や ICT 活用など、時代の要請や受講者のニーズに沿った研修を実施した。
		受講機会の確保等	新型コロナウイルス感染症対策として Web セミナー方式を継続した。



業務名	内 容																
① 自主研修 (継続)	<p><b>【実績】</b>            計画（44 研修、4,000 人）に対して、実績（45 研修、4,307 人）となり、1,349 千円の増となった。</p> <table border="1" data-bbox="375 383 1273 577"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>研修数</th> <th>収入額（円）</th> <th>受講者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>44</td> <td>18,980,000</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>45</td> <td>20,329,000</td> <td>4,307</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>1</td> <td>1,349,000</td> <td>307</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【評価】</b></p> <p>(1) 時代の要請や受講者のニーズをとらえた研修の実施</p> <p>①若手技術者のための基礎研修の拡充            「ゼロから始める現場管理」「新人技術者のための公共工事基礎」等では、建設業の魅力等を伝える内容を充実させた結果、「資格取得に向けて頑張りたい」など新人技術者のモチベーションアップに繋がった。その一方、基礎力学研修については「難しすぎて講義について行けない」などの意見が多く、初心者でも理解できるよう基礎の基礎から時間をかけて解説するなど、改善が必要である。</p> <p>②ICT（デジタル化）関連の研修の実施            地方建設業におけるデジタル化への具体的な対応方法や、ICT 活用事例の紹介等を行う研修を実施した。県内業者の ICT 活用は進んでいないことから、地方の建設業者が具体的にどう取り組んでいけばよいのか、より詳しく解説していく必要がある。</p> <p>③インフラ維持管理に関する研修の拡充            「道路構造物の維持管理」等 6 研修を実施した。点検・補修についての具体的な注意点、事例が参考になったと概ね好評だった。令和 4 年度は補修工法や材料等の最新事例、ドローンや画像計測技術等を活用した定期点検の効率化・高度化等に重点を置いた研修を実施する必要がある。</p> <p>④頻発、激甚化する災害への対応研修の充実            豪雨や地震など鳥取県内の事例を基にした講義が好評であった。令和 3 年度も豪雨による浸水被害や土砂災害が多く発生しており、引き続き災害対応研修の実施が必要である。</p> <p>⑤その他            建築士会の要望を基に積算研修を新たに実施したが、半日では時間が足りず、駆け足の説明となり、十分な理解につながらなかった。安全管理及び品質管理の研修は、現場経験豊富な講師による解説が好評だった。            経営者研修は 経営管理Ⅰでは「建設 DX」、経営管理Ⅱでは「人材育成と魅力ある職場づくり」をテーマに研修を実施した</p> <p>(2) 受講環境の改善及び受講機会の確保            Web アプリの導入及び研修システムの改修を行い、確認テスト及びアンケートのデジタル化を実施した結果、受講生の負担軽減や研修の効率的な実施につながった。            また、Web セミナー方式の研修については、アンケートで「移動時間の短縮に繋がる」「コロナ終息後も継続して欲しい」などの意見をいただいております、概ね好評である。</p>	区分	研修数	収入額（円）	受講者数(人)	計画	44	18,980,000	4,000	実績	45	20,329,000	4,307	増減	1	1,349,000	307
区分	研修数	収入額（円）	受講者数(人)														
計画	44	18,980,000	4,000														
実績	45	20,329,000	4,307														
増減	1	1,349,000	307														

## ②受託研修

### 令和3年度事業の実施

第4期経営改善計画	R3年度取組
現場対応のできる研修	「測量実習」「軟弱地盤対策」「用地事務Ⅰ～Ⅲ」等「非住宅木造セミナー」を実施。
災害に強い技術者の育成（風水害、地震）	「災害復旧」「災害対応」「土砂災害対策」を実施
エキスパートの育成（橋梁、トンネル、地すべり、港湾等）	「橋梁設計（上部工・下部工）」「砂防関係事業に関する基準・技術」「河川・海岸概論」等を実施。
維持管理研修	「橋梁ストックマネジメント」「構造物の維持管理」を実施。
ICT研修等	「ICT研修」で3次元設計データ等に関する演習を行実施。

業務名	内 容																																
①県土整備部 技術職員研修 (継続)	<p><b>【実績】</b></p> <p>県土整備部及び農林水産部等の技術職員等を対象とした「技術職員等研修」を受託した。県職員の受講実績は、計画 20 研修、400 人に対して、実績 20 研修、232 人となり、予算額 4,332 千円に対して決算額は 4,321 千円となり、11 千円の減となった。</p> <p>建築系担当の技術職員等を対象に「非住宅木造セミナー」を開催し、県職員のほか建築関係の民間技術者 61 名が受講した。</p> <p>県職員が Web セミナーを受講しやすい環境を整えるため、タブレット及びポケット Wi-Fi の整備、オンライン会議アプリ「Webex ミーティング」の導入を行った。</p> <table border="1" data-bbox="434 1151 1423 1402"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">研修数</th> <th rowspan="2">収入額 (円)</th> <th colspan="4">受講者数(人)</th> </tr> <tr> <th>県職員</th> <th>市町村職員</th> <th>民間業者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>20</td> <td>4,332,000</td> <td>400</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>440</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>20</td> <td>4,321,500</td> <td>232</td> <td>35</td> <td>61</td> <td>328</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>0</td> <td>△10,500</td> <td>△168</td> <td>△5</td> <td>61</td> <td>112</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【評価】</b></p> <p>県職員の受講者数が計画を下回ったのは、7月豪雨等の災害対応や、新型コロナウイルス感染症対策関連業務への従事等により、受講できない者が多かったためである。</p>	区分	研修数	収入額 (円)	受講者数(人)				県職員	市町村職員	民間業者	計	計画	20	4,332,000	400	40	-	440	実績	20	4,321,500	232	35	61	328	増減	0	△10,500	△168	△5	61	112
区分	研修数				収入額 (円)	受講者数(人)																											
		県職員	市町村職員	民間業者		計																											
計画	20	4,332,000	400	40	-	440																											
実績	20	4,321,500	232	35	61	328																											
増減	0	△10,500	△168	△5	61	112																											



### ③ その他の研修

とっとり建設業の魅力発信講座、建設産業育成研修（鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会）を継続して実施した。

業務名	内 容																					
とっとり建設産業の魅力発信講座（継続）	<p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初計画4校に対して2校(河北小 5年生 64人、西郷小 5年生 37人)で「命とくらしを守る防災と建設の仕事」出前講座を中部県土の協力をいただき実施した。</li> </ul> <p><b>【評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「とっとり建設産業の魅力発信講座」は6年目となり、今後も、他団体等との連携を図り、建設産業の意義・役割、ものづくりの魅力等、将来の担い手である小中学生に情報発信をしていく必要がある。</li> </ul> <p>&lt;講座内容&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #fff2cc;">項目</th> <th style="background-color: #fff2cc;">河北小学校</th> <th style="background-color: #fff2cc;">西郷小学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">「いのちとくらしを守る防災と建設の仕事」</td> </tr> <tr> <td>開催日時</td> <td style="text-align: center;">9月14日(火) 8:40~10:00</td> <td style="text-align: center;">9月22日(水) 9:30~11:50</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">建設技術センター・鳥取県中部総合事務所県土整備局</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td style="text-align: center;">5年生 64人</td> <td style="text-align: center;">5年生 37人</td> </tr> <tr> <td>講座内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災学習「防災と建設の仕事」「土砂災害」</li> <li>・ワークショップ「ダビンチの橋をつくってみよう」</li> <li>・ドローンによる記念撮影</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災学習「防災と建設の仕事」「土砂災害」</li> <li>・ワークショップ「ペーパーウエイトをつくろう」</li> <li>・ドローンによる記念撮影</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>				項目	河北小学校	西郷小学校	タイトル	「いのちとくらしを守る防災と建設の仕事」		開催日時	9月14日(火) 8:40~10:00	9月22日(水) 9:30~11:50	講師	建設技術センター・鳥取県中部総合事務所県土整備局		参加人数	5年生 64人	5年生 37人	講座内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災学習「防災と建設の仕事」「土砂災害」</li> <li>・ワークショップ「ダビンチの橋をつくってみよう」</li> <li>・ドローンによる記念撮影</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災学習「防災と建設の仕事」「土砂災害」</li> <li>・ワークショップ「ペーパーウエイトをつくろう」</li> <li>・ドローンによる記念撮影</li> </ul>
項目	河北小学校	西郷小学校																				
タイトル	「いのちとくらしを守る防災と建設の仕事」																					
開催日時	9月14日(火) 8:40~10:00	9月22日(水) 9:30~11:50																				
講師	建設技術センター・鳥取県中部総合事務所県土整備局																					
参加人数	5年生 64人	5年生 37人																				
講座内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災学習「防災と建設の仕事」「土砂災害」</li> <li>・ワークショップ「ダビンチの橋をつくってみよう」</li> <li>・ドローンによる記念撮影</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災学習「防災と建設の仕事」「土砂災害」</li> <li>・ワークショップ「ペーパーウエイトをつくろう」</li> <li>・ドローンによる記念撮影</li> </ul>																				
建設産業育成研修 (鳥取県建設分野担い手確保・育成事業連携協議会) 平成29年1月設立（継続）	<p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設産業の担い手確保・育成のため、建設産業の魅力発信ガイダンスや技術力向上、資格取得支援などの取組を行った。</li> </ul> <p><b>【評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設系専門高校では、2級土木施工管理技士補国家資格受験者、合格率とも上昇してきた。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #fff2cc;">区 分</th> <th style="background-color: #fff2cc;">R2 年度合格率</th> <th style="background-color: #fff2cc;">R3 年度合格率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取工業高等学校</td> <td style="text-align: center;">60.0% (9/15人合格)</td> <td style="text-align: center;">62.6% (10/16人合格)</td> </tr> <tr> <td>米子工業高等学校</td> <td style="text-align: center;">43.8% (7/16人合格)</td> <td style="text-align: center;">72.2% (13/18人合格)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・他団体の協力いただき、インフラの維持管理講座においては、体験学習も取り入れ充実を図れた。</p> <p>・保護者や普通科高校への魅力発信が少ないので、情報発信について工夫が必要である。</p> <p>・コロナ禍での活動制限に対応し、Web等を利用したイベント等の企画が必要である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #fff2cc;">予算額 A</th> <th style="background-color: #fff2cc;">決算額 B</th> <th style="background-color: #fff2cc;">増減額 B-A</th> <th style="background-color: #fff2cc;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">7,194 千円</td> <td style="text-align: center;">7,194 千円</td> <td style="text-align: center;">0 千円</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県 6,694 千円</li> <li>・(一財)建設業振興基金 500 千円</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>				区 分	R2 年度合格率	R3 年度合格率	鳥取工業高等学校	60.0% (9/15人合格)	62.6% (10/16人合格)	米子工業高等学校	43.8% (7/16人合格)	72.2% (13/18人合格)	予算額 A	決算額 B	増減額 B-A	備 考	7,194 千円	7,194 千円	0 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県 6,694 千円</li> <li>・(一財)建設業振興基金 500 千円</li> </ul>	
区 分	R2 年度合格率	R3 年度合格率																				
鳥取工業高等学校	60.0% (9/15人合格)	62.6% (10/16人合格)																				
米子工業高等学校	43.8% (7/16人合格)	72.2% (13/18人合格)																				
予算額 A	決算額 B	増減額 B-A	備 考																			
7,194 千円	7,194 千円	0 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県 6,694 千円</li> <li>・(一財)建設業振興基金 500 千円</li> </ul>																			

## 2 図書等頒布事業

### ○総括

R3.7月に「土木工事施工管理ハンドブック」を発刊するとともに、けんせつ絵本の蔵書を70冊から100冊とし貸出増加の取組を進め、計画150冊に対して実績は917冊となった。

収入は、予算額8,410千円に対し、決算額は4,894千円となり、3,515千円の減となった。

### 令和3年度事業の実施

第4期経営改善計画		R3年度事業取組
技術系図書の頒布	鳥取県と連携し、機会を捉えながら技術系図書の頒布を実施	・「土木工事施工管理ハンドブック」改定版を発刊・販売した。 (発刊：2,050部、販売：1,530部)
図書貸し出しの拡充	県内の未貸出の公共図書館への貸出の拡充	・貸出が未実施の倉吉市立図書館、倉吉市立せきがね図書館、ちえの森ちづ図書館で実施し、貸出数が延917冊と増加した。
	蔵書の増加 R3：100冊⇒R7：210冊	・図書を30冊購入し、蔵書を100冊に増やした。 ・購入図書は、県立図書館の助言を参考に選定した。
	図書室(センター)の有効利用	・けんせつ絵本コーナーをセンター内図書室に新設予定であったが、近隣住民の方が利用しやすいように倉吉市立図書館内に設置することとしている。(R4年度設置)

業務名	内 容																																																														
図書頒布 (継続)	<p><b>【実績】</b> 10年ぶりに「土木工事施工管理ハンドブック」改定版を7月に2,050部発刊し、1,530部販売した。残部520部は令和7年度末まで販売を予定している。</p> <p><b>【評価】</b> 販売価格は、5,000円を予定していたが、入札実施により印刷費が大幅に減少した(当初：9,629千円⇒実績：4,261千円)ことから、2,600円とした。 販売価格が安価となり収入が減少したが、印刷費の執行減が収入減を上回る結果となり収支に影響は無かった。</p> <p><b>R3年度図書等頒布一覧表</b> (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">図書名</th> <th colspan="3">計画</th> <th colspan="3">実績</th> <th rowspan="2">増減額 B-A</th> </tr> <tr> <th>部数</th> <th>単価</th> <th>予算額A</th> <th>部数</th> <th>単価</th> <th>決算額B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木工事施工管理ハンドブック</td> <td>1,500</td> <td>5,000</td> <td>7,500,000</td> <td>1,530</td> <td>2,600</td> <td>3,978,000</td> <td>△3,522,000</td> </tr> <tr> <td>設計、測量、地質・土質調査共通仕様書</td> <td>5</td> <td>2,851</td> <td>14,000</td> <td>1</td> <td>2,851</td> <td>2,851</td> <td>△11,149</td> </tr> <tr> <td>道路工事関係技術便覧</td> <td>10</td> <td>1,476</td> <td>15,000</td> <td>6</td> <td>1,476</td> <td>8,856</td> <td>△6,144</td> </tr> <tr> <td>河川・海岸便覧ほか3種</td> <td>10</td> <td>1,069</td> <td>11,000</td> <td>13</td> <td>1,069</td> <td>13,897</td> <td>2,897</td> </tr> <tr> <td>複写用ブリペイドカード</td> <td>290</td> <td>3,000</td> <td>870,000</td> <td>297</td> <td>3,000</td> <td>891,000</td> <td>21,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,815</td> <td></td> <td>8,410,000</td> <td>1,847</td> <td></td> <td>4,894,604</td> <td>△3,515,396</td> </tr> </tbody> </table>	図書名	計画			実績			増減額 B-A	部数	単価	予算額A	部数	単価	決算額B	土木工事施工管理ハンドブック	1,500	5,000	7,500,000	1,530	2,600	3,978,000	△3,522,000	設計、測量、地質・土質調査共通仕様書	5	2,851	14,000	1	2,851	2,851	△11,149	道路工事関係技術便覧	10	1,476	15,000	6	1,476	8,856	△6,144	河川・海岸便覧ほか3種	10	1,069	11,000	13	1,069	13,897	2,897	複写用ブリペイドカード	290	3,000	870,000	297	3,000	891,000	21,000	計	1,815		8,410,000	1,847		4,894,604	△3,515,396
図書名	計画			実績			増減額 B-A																																																								
	部数	単価	予算額A	部数	単価	決算額B																																																									
土木工事施工管理ハンドブック	1,500	5,000	7,500,000	1,530	2,600	3,978,000	△3,522,000																																																								
設計、測量、地質・土質調査共通仕様書	5	2,851	14,000	1	2,851	2,851	△11,149																																																								
道路工事関係技術便覧	10	1,476	15,000	6	1,476	8,856	△6,144																																																								
河川・海岸便覧ほか3種	10	1,069	11,000	13	1,069	13,897	2,897																																																								
複写用ブリペイドカード	290	3,000	870,000	297	3,000	891,000	21,000																																																								
計	1,815		8,410,000	1,847		4,894,604	△3,515,396																																																								
けんせつ絵本の貸出 (継続)	<p><b>【実績】</b> ・蔵書を70冊から100冊とし、貸出数は計画150冊に対して実績917冊となり、多くの方に建設産業の役割や大切さを知って頂く機会となった。 ・女星NW、鳥大防災ラボと連携し、けんせつ絵本のおはなし会を3図書館(湯梨浜、船岡、倉吉)で開催した。</p> <p><b>【評価】</b> ・けんせつ絵本の貸出は、コロナ渦の影響で児童図書の人気の高まりから貸出が増加した。 ・けんせつ絵本のおはなし会は、予定していた3図書館(岩美町立図書館、ちえの森ちづ図書館、倉吉市立せきがね図書館)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため日程を延期し、令和4年度の開催を予定している。</p>																																																														

【けんせつ絵本の貸出】

図書館	計 画		実 績	
	貸出期間	貸出数	貸出期間	貸出数
岩美町立図書館	R3年1～4月	40冊	—	—
ちえの森ちづ図書館	R3年5～7月	30冊	R4.1～3月	169冊
倉吉市立図書館	R3年8～11月	60冊	R3年7～9月	689冊
倉吉市立せきがね図書館	R3年12～R4年1月	20冊	R3年10～11月	59冊
計		150冊		917冊

※岩美町図書館は4月に貸出を中止した。

【けんせつ絵本おはなし会】

図書館	計 画		実 績	
	開催時期	参加人数	開催時期	参加人数
岩美町立図書館	4月	30人	延期	—
ちえの森ちづ図書館	7月	30人	延期	—
倉吉市立図書館	8月	30人	11月28日(日)	17人
倉吉市立せきがね図書館	12月	30人	延期	—
八頭町立船岡図書館	—	—	11月21日(日)	23人
湯梨浜町立図書館	—	—	11月7日(日)	15人
計		120人		55人

### 3 試験検査事業

#### ○総括

試験機器の適正な維持管理や外部精度管理に参加することにより、試験精度を維持した。また、外部研修やOJTによる試験技術の向上で、試験依頼の安定した実施に努めたが、公共事業の減少、新型コロナウイルス感染拡大（建設工事の延期や中止）等により、依頼件数は減少した。

試験検査事業の収入は、予算額 67,683 千円に対し、決算額は 59,649 千円となり、予算額に対して 8,034 千円の減となった。

#### 令和3年度事業の実施

第4期経営改善計画		R3年度事業の実施
技術（試験）の継承	試験件数の維持、確保	・品質管理活動の日々の監視等を継続して技術力の向上図ったが、十分な試験件数の維持に結び付かなかった。利便性の向上にも目を向けたい。
	6試験分類74試験項目の継承	・試験担当者の複数化を図り、試験の実施体制を強化した。十分なバックアップ体制が築けていないため、引き続き体制強化に取り組む。
	新規試験の導入	・配合試験に関わる情報収集や現地視察等を行い、導入準備を行った。導入には配合試験の経験・データが不足しているため、サンプル試験の収集を優先する。
JIS_Q_17025_(JNLA)の内部監査、更新の実施	試験精度の維持、確保	・外部精度管理に参加することで、試験精度の維持、確保した。 ・外部研修受講により内部監査員を1名増員した。 ・更新審査に備えて、文書や記録の整理をした。
人材育成と確保	計画的な研修とOJT	・技術者としての力量を向上させるため、外部教育やOJTを活用した人材育成を進めた。
調査研究・分析	コンクリート関係（軽量コンクリート）	・コンクリートの調査を計画する等行ったが、性能やコストを満たせる材料を見い出せなかったため、テーマを再考した。
	土質関係（地盤改良）	・配合試験に関わる情報収集や現地視察等を行い、導入準備を行った。導入には配合試験の経験・データが不足しているため、サンプル試験の収集を優先する。（再掲：新規試験の導入）
	骨材関係（粒度試験分析）	・分析結果について、パネル展示や近隣小学校の出前講座で利用するツールとして検討した。

令和3年度試験分類別収入一覧表

（単位：円）

試験分類	予算額 A	決算額 B	増減額 B-A	対予算額比 B/A
骨材	5,497,000	4,413,586	△1,083,414	80%
コンクリート	36,815,000	30,027,590	△6,787,410	82%
鋼材	577,000	410,010	△166,990	71%
アスファルト	733,000	789,759	56,759	108%
土質	23,652,000	23,471,619	△180,381	99%
水	389,000	504,170	115,170	130%
計	67,663,000	59,616,734	△8,046,266	88%
試験済み鋼材代	20,000	32,850	12,850	-
合計	67,683,000	59,649,584	△8,033,416	88%

（減収となった主な要因）

#### ・コンクリート試験

公共工事発注量の減少を受け圧縮強度試験等各試験の依頼が減少した。特にコンサルタントの橋梁補修設計業務等に関する試験依頼の減少の割合が大きかった。これは、令和3年7月の豪雨災害により、災害復旧業務が優先されたことが影響したと考えられる。

#### ・骨材試験

用途の一つであるコンクリートの製造量減少に伴い、年間の依頼回数を減少された販売事業者が数社あった。

## 【実績と評価】

### ○技術（試験）の継承

- ・品質管理活動の日々の監視等を継続して行い、試験精度を維持した。
- ・需要の高い試験について試験担当者の複数化を図り、硬化コンクリートの塩化物イオン測定試験、水の試験を各1名増員した。
- ・土質試験については依然として担当者が不足しているため、継続して増員に取り組む。

### ○JIS Q 17025 (JNLA) の内部監査、更新の実施

- ・JIS Q 17025 に適合する試験機関として JNLA 登録を継続するため、品質管理活動の日々の監視やマネジメント月報作成による毎月の活動のチェック等を継続した。
- ・内部監査体制を強化するため、外部研修受講(WEB)により、内部監査員有資格者を10月に1名増員し、3名体制となった。来年度さらに1名増員し、4名体制とする予定。
- ・JNLA 登録の有効期間が令和4年8月に満了することから、令和4年3月に更新審査の申請を行った。

### ○人材育成と確保

- ・計画的な教育・訓練により人材育成に取り組んでいる。実施した外部研修、現場視察は次のとおり。

種類	センター主催の研修(土木施工管理研修など) 2件	資格更新研修(コンクリート主任技士) 1件(WEB) (試験要員認定研修 2件は県外の為来年度に延期)	現場視察(橋梁補修工事の現場視察など) 2件
----	--------------------------	---	------------------------

- ・OJT を通じた試験担当者の複数化は、1に記載のとおり。

### ○調査研究・分析

- ・コンクリート関係(軽量コンクリート)、土質関係(地盤改良)の文献収集、情報整理をした。
- ・身近なコンクリート構造物が軽くて扱いやすくなることを想定し、市販の人工軽量骨材を使った軽量コンクリートの配合設計を計画した。しかし、性能やコストに見合う材料を検討できなかったため、テーマ自体を見直すこととした。
- ・地盤改良における配合試験の導入に向け、試験手順、供試体作成方法等の情報収集、供試体作成の試行等の準備を進めた。今後はサンプルによる配合試験の実績不足の解消、データ収集等に力を入れる。

## 4 技術支援事業

### ○総括

県、市町村の建設工事からメンテナンスまで総合的な支援等を目標に掲げ、各種受託業務の計画的かつ効率的に実施した。

橋梁マネジメントシステム開発共同研究については、湯梨浜町をモデルケースに基本協定及び年度協定を締結し、定期点検、工事積算、現場技術業務を一括受託し、橋梁メンテナンス業務の拡充に向けた取り組みを行った。

収入は、予算額 116,935 千円に対し、決算額 139,571 千円となり、22,636 千円の増となった。市町村の受託業務が計画を上回り、全体では計画より 19.3%増となった。

### 令和3年度事業の実施

第4期経営改善計画		R3年度事業の取組
インフラ整備・維持管理の支援	工事積算補助業務	令和2年度に続き鳥取県より天神川流域下水関係の積算補助業務を継続受注。 市町村積算は北栄町より新規受託。
	現場技術業務・工事検査（補助）業務	現場技術業務は日南町の木材団地拡張造成工事において現場技術業務を実施。 検査補助は境港市より新規受託。
	橋梁アドバイス業務	1市9町に対して積算、現場技術及びアドバイス業務の実施。
	コンクリートひび割れ診断指導業務	民間からひび割れ相談12件を実施。
	災害復旧支援業務	令和3年7月豪雨災害の災害復旧支援を三朝町、湯梨浜町、北栄町、南部町の4町に実施。
インフラ関係データ、システムの運用・管理	道路台帳等修正業務	前年と同程度の業務を実施。
	電子成果品保管・管理業務	197枚の電子成果品保管、管理を実施。
	橋梁マネジメントシステム（仮称）	東北大学との共同研究により橋梁マネジメントシステムの開発。 湯梨浜町と基本協定及び年度協定を締結し、橋梁メンテナンス業務の一括受託。
	建設DX（ドローン、3Dデータ、遠隔立会）	ドローンは教育施設建築物定期点検等3件の空撮の他、飛行技術の向上を目的とした建設発生土処分場等の空撮を実施。 3次元設計データの内製化を目的とした建設DX推進プロジェクト事業計画の立案。 建設発生土処分場、境港市の現場技術において遠隔臨場の試行実施。
高い技術力への支援強化と人材育成	センター職員の技術力向上	計画的な研修（センター研修、外部研修、課内研修）を実施。 自己研鑽により資格取得に取り組んだ（2級土木施工管理技士取得他）。
	賃金水準等詳細調査業務	558工種の賃金水準等詳細調査業務を実施。
	建設産業の魅力発信講座	鳥取県、（一社）鳥取県中部建設業協会青年部と連携し、河北小、西郷小に対して魅力発信講座を実施。

## 〔事業費総括表〕

(単位：円)

区 分	予算額 A	決算額 B	増減額 B-A	備 考
受託（県）	66,775,000	66,304,920	△ 470,080	
受託（市町村）	41,310,000	55,471,460	14,161,460	
災害復旧支援	3,000,000	7,473,400	4,473,400	市町村
ひびわれ相談	2,000,000	1,087,968	△ 912,032	民間
ドローン空撮	350,000	211,200	△ 138,800	天神浄化センターほか
共同研究	3,500,000	9,022,200	5,522,200	湯梨浜町
計	116,935,000	139,571,148 ( 15,592,500)	22,636,148	対予算 119.3%

※（ ）書きは、決算額のうち、繰越（R02→R03）分を示す。

## (1) 受託（県）

【実績】 県受託の計画 11 業務、予算額 66,775 千円に対し、実績は 11 業務、決算額 66,305 千円となり、470 千円の減となった。

【評価】 ③工事積算補助は増額となったが、⑦工事検査補助、⑧電子成果品保管・管理は実施件数の減により計画を下回り減額となった。

(単位：円)

業 務 名	予算額 A	決算額 B	増減額 B-A	備 考
①建設工事下請取引等 点検調査	4,341,000	4,340,600	△400	(計画) 200 件 (実績) 200 件
②再生砕石品質実態調査 に係る試験	854,000	822,800	△31,200	
③工事積算補助	29,651,000	30,539,300	888,300	(計画) 41 件、 下水管更生 (実績) 37 件、 下水管更生
④ひび割れ診断指導	1,900,000	1,751,200	△148,800	(計画) 10 ヶ所 (実績) 9 ヶ所
⑤新技術・新工法活用 システム事前審査	700,000	699,600	△400	(計画) 4 件 (実績) 4 件
⑥道路台帳等修正	15,342,000	15,342,800	800	
⑦工事検査補助	1,198,000	599,500	△598,500	(計画) 40 ヶ所 (実績) 18 ヶ所
⑧電子成果品保管・管 理	906,000	321,200	△584,800	(計画) 600 枚 (実績) 197 枚
⑨賃金水準等詳細調査	3,683,000	3,621,420	△61,580	(計画) 600 工種 (実績) 558 工種
⑩橋梁直営点検支援	4,900,000	4,972,000	72,000	
⑪公共残土利用促進業務	3,300,000	3,294,500	△5,500	
計	66,775,000	66,304,920	△470,080	対予算 99.3%



(2) 受託 (市町村)

【実績】 予算額 41,310 千円に対し決算額 55,471 千円となり、14,161 千円の増となった。

【評価】 市町村支援の内容周知、PR により、北栄町から新規業務を受託した。

また、「③橋梁補修アドバイス」については、これまでの実績やその効果周知により受託件数が増加し、1 市 9 町で効果的な補修対策や経費節減に寄与した。

(単位：円)

業 務 名	予算額 A	決算額 B	増減額 B-A	備 考
① 工事積算補助	19,474,000	27,889,400	8,415,400	(実績) :21,928,500 円 (境港市、北栄町、琴浦町) ○繰越 :5,960,900 円 (湯梨浜町)
② 現場技術	8,100,000	9,919,800	1,819,800	(実績) :1,928,300 円 (境港市) ○繰越 :7,991,500 円 (境港市、日南町)
③ 橋梁補修アドバイス等	11,902,000	16,879,060	4,977,060	(実績) :15,238,960 円 (境港市、岩美町、八頭町、智頭町、三朝町、琴浦町、北栄町、大山町、伯耆町、鳥取大学(橋梁データ保管)) ○繰越 :1,640,100 円 (境港市、八頭町、三朝町)
④ 工事検査補助	1,834,000	783,200	△1,050,800	(計画) 27 件 (実績) 13 件(倉吉市、境港市)
計	41,310,000	55,471,460	14,161,460	対予算 134.2%

(3) 災害復旧支援

【実績】 予算額 3,000 千円に対し決算額 7,473 千円となり、4,473 千円の増となった。

【評価】 これまでの実績やその効果周知により 4 町に対して災害復旧支援を行った。

(単位：円)

業 務 名	予算額 A	決算額 B	増減額 B-A	備 考
災害復旧支援	3,000,000	7,473,400	4,473,400	(実績) 三朝町、湯梨浜町、北栄町、南部町 対予算 249.1%

(4) ひびわれ相談

【実績】 予算額 2,000 千円に対し決算額 1,087 千円となり、912 千円の減となった。

【評価】 ひび割れ相談の依頼件数が計画に対して 8 件減となり、予算額を下回った。

(単位：円)

業 務 名	予算額 A	決算額 B	増減額 B-A	備 考
コンクリートひび割れ相談	2,000,000	1,087,968	△912,032	(計画) 20 件 (実績) 12 件 対予算 54.4%

(5) ドローン空撮

【実績】 予算額 350 千円に対し決算額 211 千円となり、139 千円の減となった。

【評価】 教育施設建築物定期点検、県営住宅定期点検、天神浄化センターの空撮 3 件を受託した。その他、自主撮影として、魅力発信講座、建設発生土処分場の空撮を実施し、飛行技術の向上に取り組んだ。

(単位：円)

業 務 名	予算額 A	決算額 B	増減額 B-A	備 考
支援業務の効率化 (ドローンによる空撮等)	350,000	211,200	△138,800	(計画) 5 件 (実績) 3 件

(6) 共同研究

【実績】 予算額 3,500 千円に対し決算額 9,022 千円となり、5,522 千円の増となった。

【評価】 湯梨浜町をモデルケースに基本協定及び年度協定を締結し、定期点検、工事積算、現場技術業務を一括受託し、橋梁メンテナンス業務の拡充に向けた取り組みを行った。

(単位：円)

業 務 名	予算額 A	決算額 B	増減額 B-A	備 考
橋梁マネジメントシステム開発共同研究	3,500,000	9,022,200	5,522,200	湯梨浜町

## 5 建設発生土受入事業

### ○総括

公共事業を円滑に進めるため、10月に開所した小町事業所を含め県内で4か所の事業所を管理・運営し、県内全域で効率的かつ経済的な建設発生土の受入を行った。

収入は予算額366,300千円に対して、決算額185,913千円となり、180,387千円の減となった。

### 令和3年度事業の実施

(単位：千m3)

第4期経営改善計画			計画 受入 土量	R2まで 受入 土量	R3 受入 土量	受入 可能 土量	R3年度事業の取組
開設中の 事業所	安定的な稼働	岩美第二 事業所	250	164	0	86	岩美道路事業以外の発生土受入れに向け、地元説明実施。
		帽子取第 二事業所	455	105	71	279	管内の建設発生土を順調に受け入れ中。
		小町事業 所	900	0	23	877	10月に開所し、米子自動車道外の発生土受入れ開始。
		小原事業 所	210	12	21	177	鍵掛峠道路工事の発生土の本格的な受け入れ開始
民間処分 場と競合 しない地 域の開所	・収支均衡の とれた各事業 所の運営 ・地域活性化 に向けた跡地 利用の実現	中部県土 局管内	250	0	0	250	処分場候補地の選定作業実施。
		日野県土 局管内	280	0	0	280	処分場候補地の選定作業実施。
大規模事 業に必要な 処分場	・県との連携 強化 ・支出負担の 軽減（協定の 見直し）	美成候補 地	540	0	0	540	地元からの反対により、12月に事業中止。代替候補地について選定作業実施中。
計			2,885	281	115	2,489	

### 各事業所受入状況

#### 【実績】

地区	事業所名	区分	予算額 A	決算額 B	増減額 B-A
東部	岩美第二	土量(m3)	0	0	0
		収入(円)	0	0	0
中部	帽子取第2	土量(m3)	120,000	70,629	△49,371
		収入(円)	178,200,000	104,883,762	△73,316,238
西部	小町	土量(m3)	60,000	22,827	△37,173
		収入(円)	89,100,000	33,897,649	△55,202,351
	小原	土量(m3)	45,000	21,424	△23,576
		収入(円)	99,000,000	47,131,920	△51,868,080
計		土量(m3)	225,000	114,880	△110,120
		収入(円)	366,300,000	185,913,331	△180,386,669

(注) 受入単価 帽子取第2、小町：1,485円/m3、岩美第二：2,530円/m3、小原：2,200円/m3

【評価】

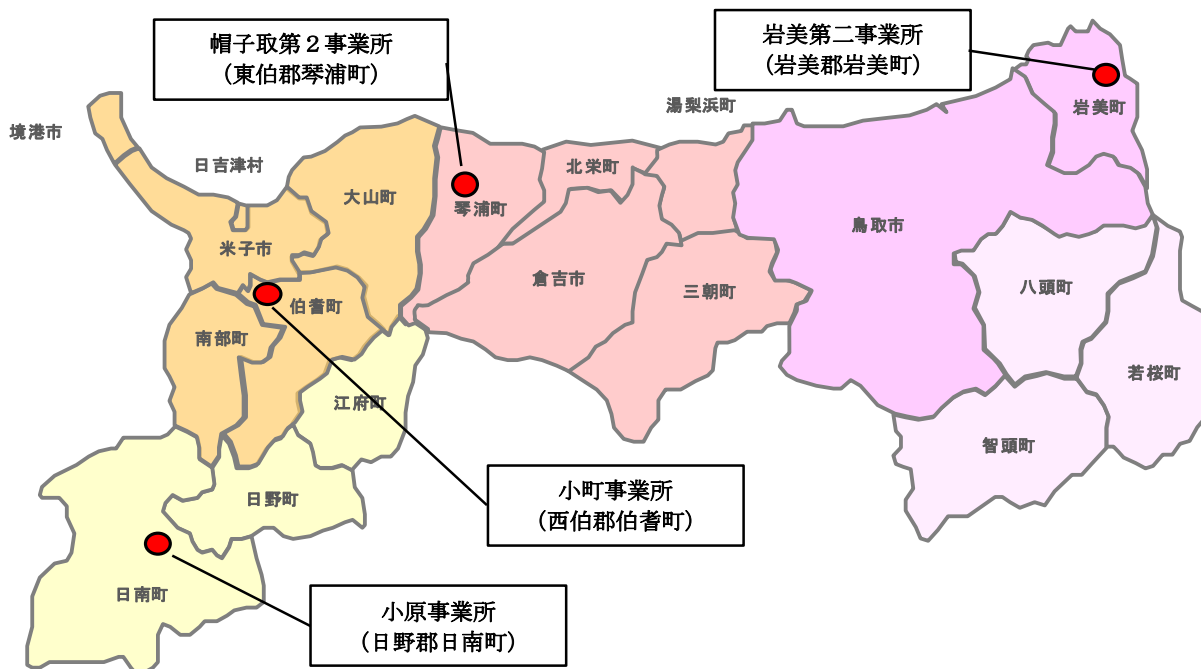
地区	内 容
(1) 東部地区	<p>○岩美第二事業所（岩美郡岩美町） 一般国道 178 号岩美道路専用処分場としての受入れがほぼ完了したものの、容量的に受入が可能なおもあり、岩美町内で県が行う岩美道路事業以外の公共事業からも受入れを行うため、地元説明を行い、了解を得た。R4 年度は 2 万 m<sup>3</sup> の受入れを予定している。</p> <p>○美成候補地（鳥取市用瀬町） 志戸坂道路事業等の発生土受入れを目的に R4 年度開所を目指し準備を進めていたが、熱海市伊豆山土石流災害（R3 年 7 月）に端を発した地元関係者の盛土工事への不安から、砂防ダムなど過大な安全対策の要求が出されたため、止むなく中止することになった。</p>
(2) 中部地区	<p>○帽子取第 2 事業所（東伯郡琴浦町） 受入計画土量 120,000m<sup>3</sup> に対し、受入量 70,629m<sup>3</sup> で大幅な減少となった。主な要因として路体盛土に適した良質な土砂が想定より多く搬出されたため、倉吉関金道路外の他工区流用に流れたことと、青谷上寺地遺跡整備工事への搬入量が当初の見込みより増えたことなどが推測される。</p>
(3) 西部地区	<p>○小町事業所（西伯郡伯耆町） 10 月から米子自動車道 4 車線化に伴う建設発生土の受入を開始したものの R3 年度は、受入計画土量 60,000m<sup>3</sup> に対し、受入量 22,827m<sup>3</sup> で計画比 38% と大幅な減となった。 主な要因は米子自動車道のトンネル工事の進捗が遅れ、本格的な搬出が R4 年度にずれ込んだことによる。</p> <p>○小原事業所（日野郡日南町） 国土交通省が実施する鍵掛峠道路事業からの建設発生土の専用処分場として R3 年度から本格的な受け入れを行った。R3 年度は、受入計画土量 45,000m<sup>3</sup> に対し、受入量 21,424m<sup>3</sup> で計画比 48% と大幅な減となった。 主な要因は鍵掛峠道路事業のトンネル工事の進捗が遅れ、本格的な土砂搬出が R4 年度にずれ込んだことによる。</p>
(4) 新規候補地	<p>○東部管内 県と協議し、民間を含めた処分場の空白地域である八頭郡を中心に複数の候補地を選定した。</p> <p>○中部管内 帽子取第 2 事業所は、R7 年度に受入れ完了の予定であることから、後継候補地の選定について地元自治体と協議を行った。</p> <p>○日野管内 県と協議し、新たな候補地を選定するにあたり、耕作放棄地を中心に選定を進めていくことで共通認識した。</p>

工事・委託等発注状況 (R3 年度)

(単位：千円)

地区	事業所名	予算額	R3 契約済額	R3 決算額	備考
中部	帽子取 (東伯郡琴浦町)	24,000	35,785	30,555	場内仕上げ工事 (R2. 11. 24~R3. 6. 30) R2 : 5,230 千円、R3 : 30,555 千円
	帽子取 2 (東伯郡琴浦町)	71,000	45,372	31,402	場内仕上げ工事 (R2. 11. 24~R3. 6. 30) (帽子取に流用) 沈砂池、地下排水工、造成工事 (R2. 12. 7~R3. 11. 20) R2 : 13,970 千円、R3 : 31,402 千円
			30,404	12,100	造成工事 (R3. 10. 29~R4. 6. 30) (繰越し)
西部	小町 (西伯郡伯耆町)	100,000	64,994	64,994	進入路、地下排水工、造成工事 (R3. 7. 20~R4. 3. 25)
			34,419	0	地下排水工、造成工事 (R4. 3. 11~R4. 10. 3)
	小原 (日野郡日南町)	80,000	58,174	38,200	沈砂池、地下排水工、造成工事 (R3. 7. 20~R4. 6. 30) (繰越し)
200		196	196	用地・立木補償契約に係る相続登記業務 (R3. 7. 5~R3. 8. 31)	
東部	第 2 三谷	—	2,299	2,299	7 月豪雨により被災した法面の復旧工事 (R3. 10. 15~10. 19) (小原事業所から流用)
		9,280	7,151	0	確定測量業務委託 (R3. 5. 10~R4. 6. 30) (繰越し)
			102	102	受入地相続登記申請業務 (R3. 11. 29~R4. 1. 31)
計		284,480	278,896	179,848	

【事業所位置図】



## V-2 法人の運営・管理の運営

### (1) 理事会及び評議員会の開催について

#### ①理事会

開催時期	内 容
R3年4月21日 (第155回)	議事 (1) 第47回評議員会の開催について ※みなし決議
R3年5月12日 (第156回)	議事 (1) 令和2年度事業報告について (2) 令和2年度決算について (3) 第48回評議員会の開催について
R3年6月30日 (第157回)	議事 (1) 令和3年度補正予算について (2) 建設発生土処分料の決定について (3) 第49回評議員会の開催について ※みなし決議
R3年9月10日 (第158回)	議事 (1) 第50回評議員会の開催について ※みなし決議
R3年10月8日 (第159回)	議事 (1) 代表理事の職務執行状況について (2) 令和3年度事業の中間報告について (3) 正職員給与規定等改訂方針(案)について (4) 建設分野担い手確保・育成の取組について
R4年2月9日 (第160回)	議事 (1) 令和3年度補正予算について (2) 債務負担行為の承認について (3) 第51回評議員会の開催について ※みなし決議
R4年3月10日 (第161回)	議事 (1) 予算の繰越について (2) 令和3年度特定費用準備資金の積立について (3) 令和4年度事業計画書及び予算書等について (4) 令和4年度利益相反取引について (5) 諸規程の改正(案)について (6) 第52回評議員会の開催について

#### ②評議員会

開催時期	内 容
R3年4月30日 (第47回)	議事 (1) 評議員の選任について ※みなし決議
R3年5月28日 (第48回)	議事 (1) 令和2年度事業報告について (2) 令和2年度決算について ※みなし決議
R3年7月15日 (第49回)	議事 (1) 令和3年度補正予算について ※みなし決議
R3年9月27日 (第50回)	議事 (1) 評議員の選任について ※みなし決議
R4年2月21日 (第51回)	議事 (1) 令和3年度補正予算について ※みなし決議
R4年3月25日 (第52回)	議事 (1) 令和4年度事業計画書及び予算書等について (2) 担い手確保育成連携協議会の取組について

### (2) 監事監査の実施について

開催時期	内 容
R3年4月27日	令和2年度決算監査
R3年11月5日	令和3年度定例監査

### (3) 建設技術センターまつりの開催について

名称を「けんせつフェスタ2021」とし、10月18日(日)に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。代替として予定していた、建設技術センターPR動画はR4年度に作成しWebで配信を行う。

# V-3 令和3年度決算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

公益財団法人鳥取県建設技術センター



# 貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

(公財) 鳥取県建設技術センター

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	218,752,769	92,562,090	126,190,679
未収金	102,084,370	112,776,837	△ 10,692,467
前払金	521,962	448,546	73,416
戻書	1,439,050	382,521	1,056,529
未収消費税等	0	999,900	△ 999,900
流動資産合計	322,798,151	207,169,894	115,628,257
<b>2. 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
基本財産	8,900,000	8,900,000	0
基本財産合計	8,900,000	8,900,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	76,603,101	85,403,512	△ 8,800,411
処分場整地等積立資産	30,000,000	30,000,000	0
減価償却引当資産	208,022,415	204,522,415	3,500,000
特定資産・什器備品	274,132	770,256	△ 496,124
公益目的事業費積立資金	50,000,000	50,000,000	0
小原処分場施設取得積立資金	0	51,400,000	△ 51,400,000
特定資産合計	364,899,648	422,096,183	△ 57,196,535
(3) その他固定資産			
建物及び付属設備	971,264	1,074,285	△ 103,021
構築物	337,281	449,707	△ 112,426
車両運搬具	3	3	0
什器備品	2,932,839	5,829,712	△ 2,896,873
土地	24,079,348	23,677,177	402,171
電話加入権	73,492	73,492	0
ソフトウェア開発費	1,418,920	3,268,634	△ 1,849,714
その他固定資産合計	29,813,147	34,373,010	△ 4,559,863
固定資産合計	403,612,795	465,369,193	△ 61,756,398
資産合計	726,410,946	672,539,087	53,871,859
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	67,118,716	9,882,593	57,236,123
前受金	69,359,381	23,421,179	45,938,202
預り金	501,099	1,284,482	△ 783,383
未払消費税等	11,821,800	0	11,821,800
流動負債合計	148,800,996	34,588,254	114,212,742
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金	76,603,101	85,403,512	△ 8,800,411
固定負債合計	76,603,101	85,403,512	△ 8,800,411
負債合計	225,404,097	119,991,766	105,412,331
<b>III 正味財産の部</b>			

科 目	当年度	前年度	増 減
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	2,274,135	2,770,259	△ 496,124
(うち基本財産への充当額)	(2,000,000)	(2,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(274,132)	(770,256)	(△ 496,124)
2. 一般正味財産	498,732,714	549,777,062	△ 51,044,348
(うち基本財産への充当額)	(6,900,000)	(6,900,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(288,022,415)	(335,922,415)	(△ 47,900,000)
正味財産合計	501,006,849	552,547,321	△ 51,540,472
負債及び正味財産合計	726,410,946	672,539,087	53,871,859

# 正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(公財) 鳥取県建設技術センター

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 1,780]	[ 1,789]	[△ 9]
基本財産受取利息	1,780	1,789	△ 9
特定資産運用益	[ 31,476]	[ 51,351]	[△ 19,875]
特定資産受取利息	31,476	51,351	△ 19,875
事業収益	[ 421,840,317]	[ 423,751,766]	[△ 1,911,449]
社会資本整備事業収益	421,840,317	423,751,766	△ 1,911,449
受取補助金等	[ 496,124]	[ 885,563]	[△ 389,439]
受取地方公共団体補助金	496,124	885,563	△ 389,439
雑収益	[ 674,811]	[ 711,057]	[△ 36,246]
受取利息	2,381	2,715	△ 334
事業外収益	9,600	141,800	△ 132,200
雑収益	662,830	566,542	96,288
経常収益計	423,044,508	425,401,526	△ 2,357,018
(2) 経常費用			
事業原価	[ 3,228,521]	[ 38,252]	[ 3,190,269]
期首棚卸高	382,521	405,373	△ 22,852
図書販売原価	4,285,050	15,400	4,269,650
期末棚卸高	1,439,050	382,521	1,056,529
事業経費	[ 456,423,651]	[ 865,115,915]	[△ 408,692,264]
役員報酬	5,412,320	5,206,000	206,320
給料手当	101,446,620	101,803,452	△ 356,832
臨時雇賃金	22,802,024	20,574,408	2,227,616
退職給付費用	6,309,579	5,657,578	652,001
福利厚生費	19,655,057	19,864,256	△ 209,199
旅費交通費	181,875	183,465	△ 1,590
通信運搬費	1,805,421	2,402,374	△ 596,953
減価償却費	6,957,629	6,836,144	121,485
消耗品費	4,441,180	4,369,020	72,160
修繕費	376,340	327,800	48,540
印刷製本費	548,378	563,069	△ 14,691
燃料費	778,501	656,360	122,141
光熱水料費	5,662,423	5,897,266	△ 234,843
賃借料	13,559,188	13,284,453	274,735
保険料	457,430	462,519	△ 5,089
諸謝金	1,804,290	1,559,925	244,365
租税公課	17,006,022	6,962,110	10,043,912
支払負担金	51,531,892	650,500	50,881,392
委託費	8,274,753	83,624,907	△ 75,350,154
食糧費	16,134	22,582	△ 6,448
手数料	569,775	553,800	15,975

科 目	当年度	前年度	増 減
研 究 開 発 費	6,529,900	0	6,529,900
工 事 請 負 費	179,549,400	229,969,200	△ 50,419,800
補 償 費	747,520	8,796,791	△ 8,049,271
建設処分場施設資産償却額	0	344,887,936	△ 344,887,936
管 理 費	[ 29,772,085]	[ 17,243,066]	[ 12,529,019]
役 員 報 酬	1,029,768	1,078,209	△ 48,441
給 料 手 当	2,289,706	2,278,082	11,624
退 職 給 付 費 用	225,411	164,967	60,444
退 職 手 当	15,335,401	0	15,335,401
福 利 厚 生 費	463,720	459,021	4,699
旅 費 交 通 費	25,950	20,240	5,710
通 信 運 搬 費	533,268	538,017	△ 4,749
減 価 償 却 費	369,264	1,658,290	△ 1,289,026
消 耗 品 費	1,414,471	2,239,221	△ 824,750
修 繕 費	184,580	195,448	△ 10,868
印 刷 製 本 費	180,730	285,870	△ 105,140
燃 料 費	35,258	24,774	10,484
光 熱 水 料 費	792,758	829,534	△ 36,776
賃 借 料	1,608,464	1,845,769	△ 237,305
保 険 料	399,750	421,360	△ 21,610
諸 謝 金	562,600	537,100	25,500
租 税 公 課	191,378	247,100	△ 55,722
支 払 負 担 金	226,303	305,756	△ 79,453
食 糧 費	114,654	96,566	18,088
委 託 料	3,183,030	3,403,657	△ 220,627
手 数 料	439,312	543,935	△ 104,623
諸 会 費	96,020	0	96,020
雑 費	70,289	70,150	139
經常費用計	489,424,257	882,397,233	△ 392,972,976
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 66,379,749	△ 456,995,707	390,615,958
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△ 66,379,749	△ 456,995,707	390,615,958
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
退 職 給 付 引 当 金 戻 入 額	[ 15,335,401]	[ 0]	[ 15,335,401]
經常外収益計	15,335,401	0	15,335,401
(2) 經常外費用			
固 定 資 産 廃 棄 損	[ 0]	[ 1]	[△ 1]
經常外費用計	0	1	△ 1
当期經常外増減額	15,335,401	△ 1	15,335,402
当期一般正味財産増減額	△ 51,044,348	△ 456,995,708	405,951,360
一般正味財産期首残高	549,777,062	1,006,772,770	△ 456,995,708
一般正味財産期末残高	498,732,714	549,777,062	△ 51,044,348

科 目	当年度	前年度	増 減
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	[ 1,780]	[ 1,789]	[△ 9]
基本財産受取利息	1,780	1,789	△ 9
一般正味財産への振替額	[△ 497,904]	[△ 691,352]	[ 193,448]
一般正味財産への振替額	(△ 497,904)	(△ 691,352)	( 193,448)
地方公共団体補助金	△ 496,124	△ 689,563	193,439
基本財産受取利息	△ 1,780	△ 1,789	9
当期指定正味財産増減額	△ 496,124	△ 689,563	193,439
指定正味財産期首残高	2,770,259	3,459,822	△ 689,563
指定正味財産期末残高	2,274,135	2,770,259	△ 496,124
III 正味財産期末残高	501,006,849	552,547,321	△ 51,540,472

### 3 正味財産増減計算書内訳表

令和 3 年 4 月 1 日から 令和 4 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	合計
	社会資本整備事業			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>I 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
基本財産運用益	( 1,780 )	( 0 )	( 1,780 )	
基本財産受取利息	1,780	0	1,780	
特定資産運用益	( 10,309 )	( 21,167 )	( 31,476 )	
特定資産受取利息	10,309	21,167	31,476	
事業収益	( 407,516,869 )	( 14,323,448 )	( 421,840,317 )	
社会資本整備事業収益	407,516,869	14,323,448	421,840,317	
受取補助金等	( 496,124 )	( 0 )	( 496,124 )	
受取地方公共団体補助金	496,124	0	496,124	
雑収益	( 582,742 )	( 92,069 )	( 674,811 )	
受取利息		2,381	2,381	
事業外収益	0	9,600	9,600	
雑収益	582,742	80,088	662,830	
経常収益計	408,607,824	14,436,684	423,044,508	
<b>(2) 経常費用</b>				
事業原価	( 3,228,521 )		( 3,228,521 )	
期首棚卸高	382,521		382,521	
凶書販売原価	4,285,050		4,285,050	
期末棚卸高	1,439,050		1,439,050	
事業経費	( 456,423,651 )		( 456,423,651 )	
役員報酬	5,412,320		5,412,320	
給料手当	101,446,620		101,446,620	
臨時雇賃金	22,802,024		22,802,024	
退職給付費用	6,309,579		6,309,579	
福利厚生費	19,655,057		19,655,057	
旅費交通費	181,875		181,875	
通信運搬費	1,805,421		1,805,421	
減価償却費	6,957,629		6,957,629	
消耗品費	4,441,180		4,441,180	
修繕費	376,340		376,340	
印刷製本費	548,378		548,378	
燃料費	778,501		778,501	
光熱水料	5,662,423		5,662,423	
賃借料	13,559,188		13,559,188	
保険料	457,430		457,430	
諸謝金	1,804,290		1,804,290	
租税公課	17,006,022		17,006,022	
支払負担金	51,531,892		51,531,892	
委託料	8,274,753		8,274,753	
食糧費	16,134		16,134	
手研費	569,775		569,775	
工事費	6,529,900		6,529,900	
補償費	179,549,400		179,549,400	
事業費計	747,520		747,520	
	459,652,172	0	459,652,172	

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	社会資本整備事業		
管 理 費			
役員報酬		1,029,768	1,029,768
給料		2,289,706	2,289,706
退職給付		225,411	225,411
退職手当		15,335,401	15,335,401
福利厚生費		463,720	463,720
旅交		25,950	25,950
通信運搬費		533,268	533,268
減価償却費		369,264	369,264
消耗品費		1,414,471	1,414,471
修繕費		184,580	184,580
印刷製本費		180,730	180,730
燃料水料		35,258	35,258
光熱水料		792,758	792,758
賃借料		1,608,464	1,608,464
保険料		399,750	399,750
諸謝金		562,600	562,600
租税公課		191,378	191,378
支払負担金		226,303	226,303
食糧託費		114,654	114,654
委託手数料		3,183,030	3,183,030
諸会費		439,312	439,312
雑費		96,020	96,020
		70,289	70,289
管 理 費 計	0	29,772,085	29,772,085
経 常 費 用 計	459,652,172	29,772,085	489,424,257
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 51,044,348	△ 15,335,401	△ 66,379,749
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当期経常増減額	△ 51,044,348	△ 15,335,401	△ 66,379,749
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
退職給付引当金戻入額	0	15,335,401	15,335,401
経 常 外 収 益 計	0	15,335,401	15,335,401
(2) 経 常 外 費 用			
固定資産廃棄損	( 0 )	( 0 )	( 0 )
固定資産廃棄損	0	0	0
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	15,335,401	15,335,401
当期一般正味財産増減額	△ 51,044,348	0	△ 51,044,348
一般正味財産期首残高	485,526,080	64,250,982	549,777,062
一般正味財産期末残高	434,481,732	64,250,982	498,732,714
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	( 1,780 )	( 0 )	( 1,780 )
基本財産受取利息	1,780	0	1,780
一般正味財産への振替額	( △ 497,904 )	( 0 )	( △ 497,904 )
一般正味財産への振替額	△ 497,904	0	△ 497,904
地方公共団体補助金	△ 496,124	0	△ 496,124
基本財産受取利息	△ 1,780	0	△ 1,780
当期指定正味財産増減額	△ 496,124	0	△ 496,124
指定正味財産期首残高	2,770,259	0	2,770,259
指定正味財産期末残高	2,274,135	0	2,274,135
III 正 味 財 産 期 末 残 高	436,755,867	64,250,982	501,006,849



## 4 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 会計基準

公益法人会計基準(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正、令和2年5月15日改正)を採用している。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法は、先入先出法による原価法を採用している。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

建物、無形固定資産は定額法、その他の固定資産については定率法を採用している。

#### (4) 引当金の計上基準

職員の退職手当支給に備えるため、職員退職手当支給規程に基づき期末要支給額相当額(自己都合)を計上している。

職員に対する退職手当相当額は、内部積立方式によっている。

#### (5) 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、前受金、未払金(未払消費税を含む)及び預り金を含めることとしている。

なお、前期末及び当期末の資金残高は次のとおりである。

科 目	当期末残高(円)	前期末残高(円)
現金預金	218,752,769	92,562,090
未収金	102,084,370	113,776,737
前払金	521,962	448,546
計	321,359,101	206,787,373
未払金	67,118,716	9,882,593
未払消費税等	11,821,800	0
前受金	69,359,381	23,421,179
預り金	501,099	1,284,482
計	148,800,996	34,588,254

#### (6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

#### (7) その他

建設発生土事業に係る繰延資産会計を令和2年度に廃止した。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増加額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産	8,900,000	0	0	8,900,000
小 計	8,900,000	0	0	8,900,000
特定資産				
退職給付引当資産	85,403,512	0	8,800,411	76,603,101
処分場整地等積立資産	30,000,000	30,000,000	30,000,000	30,000,000
減価償却引当資産	204,522,415	3,500,000	0	208,022,415
特定資産・什器備品	770,256	0	496,124	274,132
公益目的事業費積立資産	50,000,000	0	0	50,000,000
小原処分場施設取得積立資金	51,400,000	0	51,400,000	0
小 計	422,096,183	33,500,000	90,696,535	364,899,648
合 計	430,996,183	33,500,000	90,696,535	373,799,648

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
基本財産	8,900,000	(2,000,000)	(6,900,000)	(0)
小 計	8,900,000	(2,000,000)	(6,900,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	76,603,101	(0)	(0)	(76,603,101)
処分場整地等積立資産	30,000,000	(0)	(30,000,000)	(0)
減価償却引当資産	208,022,415	(0)	(208,022,415)	(0)
特定資産・什器備品	274,132	(274,132)	(0)	(0)
公益目的事業費積立資産	50,000,000	(0)	(50,000,000)	(0)
小 計	364,899,648	(274,132)	(288,022,415)	(76,603,101)
合 計	373,799,648	(2,274,132)	(294,922,415)	(76,603,101)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高	備考
建物及び付属設備	21,222,365	20,251,101	971,264	取得価格に固定資産受贈益 2,706,720円を含む
構築物	1,680,480	1,343,199	337,281	
車両運搬具	6,025,669	6,025,666	3	
什器備品	94,160,942	91,228,103	2,932,839	
土地	24,079,348	0	24,079,348	
電話加入権	73,492	0	73,492	
ソフトウェア開発費	37,630,140	36,211,220	1,418,920	
合 計	184,872,436	155,059,289	29,813,147	

5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期 末残高
未収金	102,084,370	0	102,084,370
未収消費税等	0	0	0
合 計	102,084,370	0	102,084,370

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の 名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 受取地方公共 団体補助金	鳥取県	770,256	0	496,124	274,132	指定正味財産
合 計		770,256	0	496,124	274,132	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	496,124
基本財産利息振替額	1,780
経常外収益への振替額	
目的達成による指定解除額	0
合 計	497,904

## 5 付属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産					
基本財産	定期預金	8,900,000	0	0	8,900,000
小 計		8,900,000	0	0	8,900,000
特定資産					
退職給付引当資産	定期預金	85,403,512	0	8,800,411	76,603,101
処分場整地等積立資産 注1)	定期預金	30,000,000	30,000,000	30,000,000	30,000,000
減価償却引当資産	定期預金	204,522,415	3,500,000	0	208,022,415
特定資産・什器備品	試験機(分析 用電子天秤) 他42台	770,256	0	496,124	274,132
公益目的事業費積立資産	定期預金	50,000,000	0		50,000,000
小原処分場施設取得積立資金	定期預金	51,400,000	0	51,400,000	0
小 計		422,096,183	33,500,000	90,696,535	364,899,648
合 計		430,996,183	33,500,000	90,696,535	373,799,648

注1) (特定費用準備資金積立について)

建設発生土受入事業において建設発生土の受入に伴う処分場内の整地工事費等のための資金(特定費用準備資金)として積立てを行った。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	85,403,512	6,534,990	15,335,401	0	76,603,101



貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(3) その他固定資産 建物及び付属設備	コンテナハウス他4件	(共用財産) うち公益目的保有財産79.7% うち管理運営の用に供している財産20.3%	971,264 774,421 196,843
構 築 物	接道設置工事一式	公益目的保有財産として使用する財産	337,281
車 両 運 搬 具	普通自動車ラッシュ他2台	公益目的保有財産であり、実施事業等の用に供している資産として管理している	3
什 器 備 品	スライド他74台	(共用財産) うち公益目的保有財産64.6% うち管理運営の用に供している財産35.4%	2,932,839 1,893,953 1,038,886
土 地	第2三谷、岩美第2、小原事業所建設発生土受入事業に係る土地72,291m <sup>2</sup>	公益目的保有財産として使用する財産	24,079,348
電 話 加 入 権	電話番号0858-26-6052	(共用財産) うち公益目的保有財産93.9% うち管理運営の用に供している財産6.1%	73,492 69,009 4,483
ソフトウェア開発費	試験システムバージョンアップ等12件	公益目的財産として使用する財産	1,418,920 1,418,920
その他固定資産合計			29,813,147
固定資産合計			403,612,795
	うち特定費用準備資金		30,000,000
	うち公益目的保有財産		87,747,067
	うち引当資産		284,625,516
	うち管理運営の用に供している財産		1,240,212
資 産 合 計			726,410,946
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	職員	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の3月分 時間外勤務手当及び賃金	885,843
	職員	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員旅費	74,150
	日本年金機構	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する役職員の3月分 保険料	1,165,354
	(一社)鳥取県労働基準協会	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する役職員の3月分 労働保険料	10,278
	(有)アリオン	(公益目的事業)小原事業所造成及び進入路設置工事(1工区) 完成払	24,593,500
	(有)福岡組	(公益目的事業)小町事業所造成工事(その1)部分払	38,200,000
	(株)一笑堂	(法人会計)3月分清掃委託料	207,492
	(株)クラエー	(法人会計)3月分可燃ごみ回収処分業務料	3,936
	(株)ケーオウエイ	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する3月分コピー 機燃料	38,715
	(株)ヒューマンテクノロジーズ	(法人会計)3月分勤怠管理システム使用料	10,230
	岩世自動車工業(有)	(公益目的事業)3月分軽自動車賃貸借料	16,956
	(株)三協レンタル	(公益目的事業)小町事業所タイヤ洗浄機レンタル業務料	495,000
	ヤマト運輸(株)	公益目的事業及び管理目的の業務に係る3月分宅配料金	6,512
	富士通Japan(株)	(公益目的事業)建設発生土処理システム運営管理保守業務料	686,400
	(株)鳥取情報センター	公益目的事業及び管理目的に係る鳥取県建設技術センター クラウドサーバーサービス調達業務料	282,480
	(株)愛進堂倉吉営業所	(公益目的事業)デジタルサイネージ代	392,700
	勝美印刷(株)	(法人会計)名刺代	11,550
	鳥取科学器械(株)	(公益目的事業)すきまゲージ代	37,620
		【未払金計】	67,118,716
前 受 金	福井土建(株)他24社	建設発生土処理料金前受金	63,927,472
	伯耆生コン(株)大山工場他65社	試験検査手数料前受金	5,431,909
		【前受金計】	69,359,381
預 り 金	倉吉税務署	3月分源泉所得税	172,699
	鳥取市ほか	3月分住民税	328,400
		【預り金計】	501,099
未 払 消 費 税 等	倉吉税務署	令和3年度消費税及び地方消費税	11,821,800
		【未払消費税等計】	11,821,800
流動負債合計			148,800,996
2 固 定 負 債			
退職給付引当金	職員(11名分)	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職 給付金引当金	76,603,101
固定負債合計			76,603,101
負債合計			225,404,097
正 味 財 産			501,006,849